

デジタル画像技術

”変化に挑戦、変化に適応”

代表取締役 社長 米山 高範



2001年まであと5年。技術開発も21世紀を念頭に大きなうねりが始まっています。デジタル画像技術の背景には、半導体技術の着実な進歩にささえられている側面もあり、2001年に向けた今後5年間で、これまでの10年間以上の進歩があると推定されております。

当社の事業領域であるアマチュア写真分野、プロフェッショナル写真分野、医用画像分野、印刷製版分野、複写機・プリンタ分野でのデジタル化は、パーソナルコンピューターに代表される簡便なデータ処理システムを核として、急速に変化が進んでいます。しかしながら、これらの新技術の潮流は、これまでの銀塩写真、電子写真技術をただ置き換えるのではなく、これまでの技術に立脚した技術融合が主体となり、お客様の本当に必要なシステム、ハードウェア、ソフトウェア、素材技術が開発され、商品化されていくものと思われます。当社の事業はファ

インイメージングビジネスが中心ですが、このデジタル化の大きな波に挑戦、適応しなくてはならないことは当然のことです。

ここで発行されるコニカテクニカルレポートの内容も、ファインイメージングのデジタル技術とその周辺技術の報告を数多くお届けすることになりました。近未来に向けて価値ある技術・商品の開発が、何を置いてもかかせない重要な課題です。このコニカテクニカルレポートの論文の技術を基盤に、お客様最優先の理念のもとに、新たな「創造」に向けて、社員全員で懸命な努力を続けたいと考えます。

各界の皆様のご理解とご支援をお願いいたします。